



選3 無投票 小沢氏

選代表民主

政権交代へ正念場

衆院選準備を加速

第一次公認候補

週内に 発表へ

民主党代表選は八日午前に告示され、小沢一郎代表(66)のほか立候補者がなく、無投票で小沢氏の三選が決まった。小沢氏は、十一月実施の流れが強まる次期衆院選に向け、週内に第一次公認候補を発表するほか、選挙戦で掲げるマニフェスト(政権公約)策定作業を本格化させるなど選挙準備を加速。挙党態勢を構築した上で政権交代を

実現できるか、政治生命を懸けた正念場を迎える。

小沢氏の三選は今月二十一日の臨時党大会で正式に承認される。任期は二〇一〇年九月までの二年間。小沢氏は八日午後、党本部で記者会見し、三期目の決意と政権構想の骨格を明らかにする。

小沢氏は新執行部人事について、菅直人代表代行(61)、鳩山由紀夫幹事長(61)、輿石東参院議員会長(72)による「四人体制」は基本的に維持する構えだが、自民党総裁レィスの行方をにらみながら慎重に検討する。代表選出馬を見送った岡田克也副代表(55)や野田佳彦広報委員長(51)らの処遇も焦点となる。

代表選は八日午前十時から党本部で立候補の届け出受け付けを開始、午前十一時に締め切った。



民主党代表選で3選を決め記者会見する小沢代表
8日午後、東京・永田町の党本部

最近の小沢一郎氏の歩み (肩書は当時)

- 2003年 7月23日 菅直人民主党代表と会談。民主党と自由党(小沢一郎党首)合流で合意
- 9・24 民主、自由両党が合併調印
- 12・11 民主党代表代行に就任
- 04・5・17 年金問題で辞任表明した菅氏の後継代表就任を、年金未加入理由に辞退
- 11・16 岡田克也代表の要請で副代表に
- 06・4・7 メール問題での前原誠司代表の引責辞任に伴う代表選で菅氏を破り代表に就任
- 9・12 無投票で代表再選
- 12・18 「政権政策の基本方針」(政策マクナカルタ)を決定
- 07・7・29 参院選で60議席獲得。参院で初の第1党となり与野党逆転
- 11・2 福田康夫首相と党首会談。大連立協議提案を持ち帰ったが、党役員会で拒否を決定
- 4 大連立騒動の責任を取って辞意表明。2日後に撤回して続投
- 08・1・16 党大会で政権交代への決意表明
- 4・9 福田首相と党首討論で激論
- 9・1 代表選出馬を正式表明
- 8 無投票で代表3選